

第 20 回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成 25 年 3 月 18 日（月）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：市民・協働ステーション（情報センター2 階）中会議室

- | |
|---|
| <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none">1 「この指とまれ 絆づくりカフェ」について2 次年度以降の新企画について3 その他 |
|---|

1 「第 3 回 この指とまれ 絆づくりカフェ」について

（1）第 3 回（3 月 3 日）を振り返って

- ・「ふくしまつり」が来年度も同様に開催されるなら、また参加したい。ただ、今回の反省を踏まえ参加していくかを考えるべきだと思う。
- ・午前中に開催したフィットネス体操については、中学生のボランティアがチラシを配布してくれたため、多くの方に参加してもらえた。
- ・子供連れが多く、様々な年代の方に参加してもらえてよかった。
- ・フェアトレードのブースでは、思っていた以上に多くの方が興味を持っていただき、購入してもらえた。
- ・バングラデシュのワークショップでは、少し内容が多く、忙しかったように思う。また、カフェを後方で行っていたため、予定していたスペースが確保できなかった。
- ・スタンプラリーがあったことにより、多くの方に立ち寄っていただき、少しでも見てもらえる機会があったことは大きかったと思う。
- ・カフェの方では、特にお昼頃にスタッフ不足となり、対応が間に合わなかった。そのため、何人かの方は帰られてしまった。飲みに来るだけの人も多かった。
- ・文化会館全体を通し、休憩スペースがほとんどなく、お客さんが休憩スペースを求めている。このことも休憩できる場である絆カフェが盛況だった一要因。
- ・社協の運営がよかった。
- ・上奈良気ままサロンは、社協の登録団体だが、今回は社協からの出展依頼の声がかからず、絆づくりから出展した。
- ・隣の会場の手話の団体では、実際に手話を体験してもらってからスタンプラリーのスタンプを押していた。次回は、何か体験型のものができるとういと思う。
- ・展示室で行われた各ブースの紹介は聞いていた人が、次に発表する人、発表し終えた人、団体関係者がほとんどであった。もう少し盛り上げられるように協力してあげられたらよかったのではないかなと思う。

- ・「ふくしまつり」と「絆カフェ」の目的は同じであると思う。しかし、立場が違うため、やり方に少し違いがあるように思う。他団体とのつながり作りを行いたい絆づくり江南実行委員会が、「ふくしまつり」のお手伝いとして、人材協力をしていくこともよいのではないか。
- ・社協は今回、大きな規模で行ってみるということで、基盤を作りたかったようだ。今後、やってみたい企画を徐々に広げていきたいとかがえているようだ。
- ・今回の「ふくしまつり」の規模のイベントだと、来場者用の駐車場の確保が難しい。

(来年度に向けて)

- ・来年度も「ふくしまつり」が開催されるなら参加していく。
- ・フィットネスを行うなら屋外で開催も検討する。
⇒雨天を想定し、屋根のある屋外で行えれば一番よい。会場については、早い段階で社協と相談する必要がある。(最終的には、全体の実行委員会の判断になる。)
- ・現在の実行委員会の体制では、カフェの運営は難しいので、工夫・変更して参加する。
- ・体験できることを盛り込んでいく。

(2) 今後の絆づくりカフェについて

- ・定例的に年2回は実施していけないだろうか。
- ・今回のように、他の大きなイベント(〇〇フェスタ)へ参加させてもらうのも一つ。
- ・会場は情報センターか、地域の会館を使うのかも検討していく必要がある。
- ・フィットネス体操については、芝生で行えるとよいが、2・3月だと気温の関係もあり、参加してもらいにくくなるのではないかと思われる。そのため、開催時期に合わせた会場が大切になってくる。

2 次年度以降の新企画について

(絆ファイルについて)

- ・平成25年度は“健康(づくり)”をテーマにする。関係団体と直接お会いしてお話する機会を設ける。開催しながら工夫・改良していく。
- ・最初は、市民・協働ステーションに、2、3団体を招待し、話を聞く機会を設ける。
- ・話し合った結果、方向性が違う可能性もあるが、そのときは、また違う団体や思いが同じような団体へ声をかけていく。
- ・「ふくしまつり」へ出展していた、認知症の足裏マッサージを行っていた「江南フットケア」の団体から、協働で何か健康についての活動をやらないかという声がかかった。まずはここの団体に呼び掛けてみようと考えている。
- ・江南市内において活動し、「NPO・ボランティアガイド」へ掲載している「リフレク ソロジャー ボランティア 江南」という団体へ声をかけてみるのもよいかもしれない。
- ・それぞれの団体にファイルを作成し、もっとやわらかい内容で情報を市民に伝えたい。

- また「NPO・ボランティアガイド」では伝えきれない部分を補えるようにしたい。
- ・少しずつ実施し、目標としては、「NPO・ボランティアガイド」に掲載している団体全てができるの良いと思っている。
 - ・「健康」に関して活動している団体を紹介してもらったらどうか。

- ・保健センターから資料がもらえれば、次回の会議において配布する。
- ・次回は、招待する団体の候補と、具体的な進行方法などを協議する。

3 その他

(1) 情報誌「みんなのパレット」について

- ・第4号（6月発行）に3月3日の「ふくしまつり」についての記事を掲載するので、参加された実行委員に原稿作成をお願いしたい。

(2) 協働WEBの動画配信について

- ・団体の活動紹介として、動画を掲載していきたいと思う。
- ・「ふくしまつり」の様子を一部録画したので、該当団体の了解が得られ次第載せていく。
- ・今後、動画の掲載団体を随時募集する。10秒～30秒の長さで各自撮影してもらった電子データを送ってもらい。そのまま掲載していく。（編集はしない。）

(3) 実行委員の募集について

- ・新年度、募集はしないのか。
- ・現在、随時募集の形を採っている。絆づくりカフェなどに参加した方が、新たに加えてもらえるとうれしい。
- ・実行委員会からも声をかけましょう。
- ・市広報での募集は必要に応じて行っていく。（事務局）

(4) 次回実行委員会

- ・日 時 4月22日（月）午後1時30分
- ・場 所 市民・協働ステーション 中会議室（地域情報センター2階）

傍聴は自由です。お気軽にお越し下さい。